

事業所名 子どもの広場 桑名(単位2)

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

2024年

12月

1日

法人(事業所)理念		私たちは 相互の尊敬と思いやりの心を指針とし たゆまめ実践と研究に取り組むことにより 共生社会の実現を目指して 事業を行います		
支援方針		ひとりひとりの技能を向上し、仲間と活動を行うことで、自立を支援します。		
営業時間		平日 11 時 15 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり(預かりのみ)
		土曜・学休日 9 時 00 分から 16 時 15 分まで		
5領域との関連【①健康・生活】【②運動・感覚】【③認知・行動】【④言語・コミュニケーション】【⑤人間関係・社会性】				
本人支援	預かり療育	個別療育…発語や認知力、巧緻性など個々に合わせた療育を行い発達を促す【①】【②】【③】【④】【⑤】 昼食・おやつ・トイレ・学習習慣等の、基本的な生活リズムを身につけられるよう支援する。【①】 活動によって場所を分ける、イラストや文字による視覚情報の提示を行うなど、安心して活動に参加できる環境を提供する【①】【③】 子どもの発達段階に合わせ、対応するコミュニケーション手段を選定し、意思の疎通をはかる。指差し、マカトンサイン、絵カード等。【④】		
	施設外学習・体験	買い物学習で金銭感覚を身につける【③】 科学館や工場などの見学をし知的好奇心を刺激し、興味関心の幅を広げる【④】 訪問先の施設でのルールやマナーを知り、守ることで社会性の発達を支援する。【⑤】		
	学習支援	個別療育…発語や認知力、巧緻性など個々に合わせた療育を行い発達を促す【①】【②】【③】【④】【⑤】 数量・大小・色等の理解の促し、空間・時間等の概念の形成を図る【③】 読み書き能力の向上、体系的な言語の習得、マカトンサインの活用等【④】		
	臨床美術	姿勢の保持や道具の使い方の習得、保有する視覚・触覚などを十分活用できるよう支援する【②】 環境から情報を収集し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する【③】 人とやり取りをする中で相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする力の向上をはかる【④】 大人を介在して自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。【⑤】		
	運動遊び・戸外活動	体を動かす活動を通じ、健康の増進をはかる【①】 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善や習得。PT等専門職による支援【②】 季節の変化への興味などの感性形成のための外出。バランスストーンやセンサリーマット等で感覚の発達を促す【③】 共同活動で相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりする力の向上【④】 集団への参加の支援。大人が介入して行う遊びや、役割やルールのある遊びを通して、社会性の発達を支援する。【⑤】		
	習字・制作活動	姿勢の保持や道具の使い方の習得の支援【②】 紙に対しどのぐらいの大きさで書いたら良いのか判断する等、環境から情報を収集し行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する【③】		
	調理活動	健康な生活の基本となる食を営む力の育成【①】 道具の使い方の習得、食材を見る・触る・嗅ぐ、できた料理を味わう等、五感を刺激し十分活用できるよう支援する【②】 量を計る、均一に切る等の作業を通じて数量や大小、色や音の変化に【③】		
	ブレインジム	体を動かす活動で健康の増進をはかる【①】 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や動作の改善や習得【②】 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、認知機能の発達を促す支援を行う【③】		
家族支援	家族が安心して子育てを行うことが出来るよう、様々な負担を軽減していくための物理的及び心理的支援等を行う。 発達相談(どんぐり広場・ことだま講座・個別療育) 保護者向け研修(ブレインジム・家族応援セミナー)	移行支援	就学移行期の情報共有、連携 同年代の子どもの仲間づくり 移行先に必要な日常生活動作(ADL)の獲得支援 円滑な社会生活を送るための力をつける支援(SST)等	
地域支援・地域連携	教育機関(学校・保育園)や専門機関(医療機関・児相)等との連携 避難訓練 公共機関との関係づくり(交番・消防署等) イオン幸せの黄色いレシート、買い物学習等	職員の質の向上	OJTの実施 虐待防止・身体拘束に関する研修(毎年) 各種研修への参加	
主な行事等	春:卒業式・お花見 / 夏:七夕・夏祭り / 秋:芋ほり・ハロウィンパーティー / 冬:クリスマス会・初詣・節分 誕生日会 等			